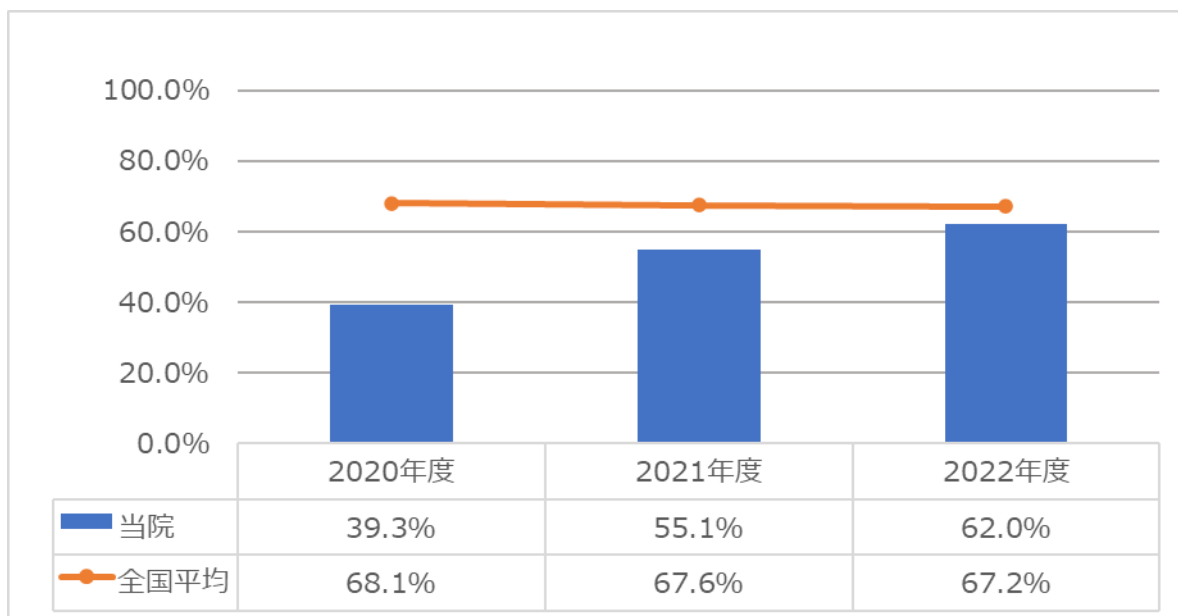


指標 6 院内肺炎症例の治癒軽快割合



<定義>

分子	:	治癒または軽快で退院した症例数
分母	:	院内肺炎症例数
期間	:	2020年度～2022年度（1年毎に集計）
対象	:	上記期間の退院患者
値の解釈	:	高い方が望ましい

<解説>

入院中に発生する院内肺炎は、市中肺炎と比較し原因菌が多岐にわたり、患者も免疫が低下していることから重症化しやすい傾向があります。そのため治療に難渋する症例が多く、死亡する症例も少なくありません。当院では院内肺炎の予防はもちろん、細菌検査に基づいて抗菌薬を選択し、適切な治療を行っています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院の QIP 参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html>（QIP における計測結果）